

2024年4月18日

住宅性能表示制度における断熱性能で最高等級7に対応  
『カサート平屋 断熱等級7モデル』新発売  
～高断熱建物+新採用の樹脂サッシで、当社として初めて要件をクリア～

パナソニックホームズ株式会社は、このたび、住宅性能表示制度における断熱性能で最高等級7に対応する<sup>※1</sup>平屋の戸建住宅『カサート平屋 断熱等級7モデル』を、2024年4月19日から新発売します。等級7の対応は、当社の商品として初めてとなります。



『カサート平屋 断熱等級7モデル』外観イメージ

近年、著しい気候変動や国際情勢によるエネルギー価格の高騰等を背景に、住宅の脱炭素化がより一層求められています。国の住宅政策では、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及拡大や、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく住宅性能表示制度の断熱等性能等級において2022年10月に従前の最高等級5の上に等級6～7が新設されました。さらに国は、2030年に、新築住宅において等級5の義務化を予定しています。

『カサート平屋 断熱等級7モデル』は、季節による寒暖差が大きい日本で、1年を通じて快適な暮らしを目指した、断熱性の高い平屋の住まい。従来から、当社の平屋は標準仕様で断熱等級6<sup>※2</sup>に対応できますが、同商品では、建物の天井、基礎の断熱性能をさらに強化した上、今回新しく開発した樹脂サッシの窓を採用することで、最高等級7に対応可能となりました。これにより、住まいにおけるヒートショックの原因となる部屋間の温度差をさらに少なくするとともに、消費エネルギーの低減にも貢献します。

さらに、当社ならではの強固な構造を生かし、大開口のあるワイドな大空間も設計可能。心地よく暮らせる居住性や、35年にわたり販売実績がある、床下の地熱を活用した換気システムによる冷暖房負荷の低減など、快適かつ省エネに配慮した住まいとなっています。

さらに、ワンフロアで暮らせる平屋の利点を生かし、キッチンを中心とした回遊動線により家族みんなで家事ができるLDKや、キッチンに近接して家事や在宅ワークの空間を確保するなど、動線の効率化や時短に繋がるプランも実現可能です。

当社は、平屋住宅が持つ様々な利点と工業化住宅の優れた性能・品質・省エネ性能をベースに、各種の生活者調査も踏まえ、このたび『カサート平屋 断熱等級7モデル』を開発しました。今後も、社会のニーズや生活者の価値観、お客様の健康・快適・安全・安心なくらしのニーズを満たす住まいの提供に向けて邁進していきます。

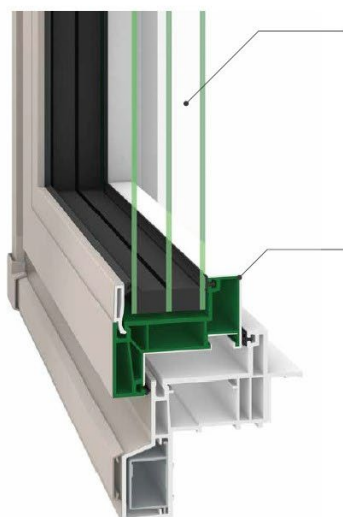
## ◆『カサート平屋 断熱等級7モデル』概要

### ① 住宅性能表示制度における断熱性能で最高等級7に対応

『カサート平屋 断熱等級7モデル』は、建物の天井、基礎の断熱性能をさらに強化した上、今回新しく開発した樹脂サッシを窓に採用することで、最高の等級7に対応でき、住まいにおける消費エネルギーの低減に貢献します。

### ● 新開発の樹脂サッシ

## 開口部の断熱性を高める「トリプルガラス」と「樹脂サッシ」



#### 高性能な Low-E トリプルガラス

窓面積を大きく占めるガラス面は、Low-E トリプルガラスを採用。中空層にはアルゴンガスを充填することで熱の伝わりやすさをあらかず熱伝導率を抑えています。

#### 熱が伝わりにくい樹脂製フレーム

樹脂はサッシフレームの素材として一般的なアルミニウムなどと比べて熱を伝えにくいことに加え、ビスなどではなく、溶着によってフレームを緊密に接合するため、高い気密性や断熱性が得られます。

#### ● 熱を伝えにくい素材（熱伝導率）

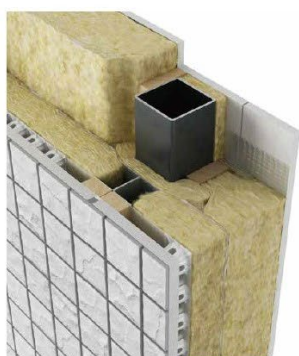


※写真や画像は一部CGイメージを使用しています。実際の製品とカタログ上の色味は印刷によって、多少異なる場合があります。

## ● 高い躯体断熱と地熱利用

標準仕様でも高い断熱性で「断熱等級6」に対応<sup>※1</sup>

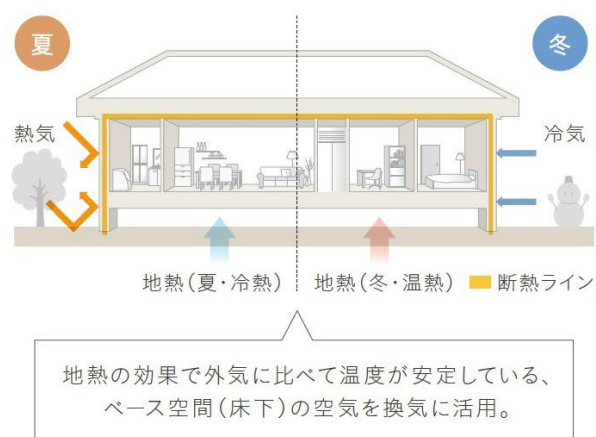
屋根、外壁、床に高性能断熱材を使用して断熱性を高めるとともに、天井断熱材の防湿性能を強化することで、断熱等級6に対応しています。さらに平屋断熱等級7モデルでは、天井に厚さが標準仕様の約1.5倍の高性能断熱材<sup>※2※3</sup>を採用。お客さまのご要望や地域の気候特性にもきめ細かく対応し、快適で省エネ性に優れた住まいづくりをお手伝いします。



- ※1.カサートの平屋において、建築地やプラン、採用する仕様によっては対応できない場合があります。
- ※2. 高断熱化した天井部には、ダウンライト等の設置ができません。別仕様でのご提案をいたします。
- ※3. 部位により断熱仕様は異なります。

35年にわたる実績「地熱を活用した換気システム」

天井や外壁だけでなく、基礎の内側まで断熱材を施した「家まるごと断熱」で、床下の地熱も活用して冷暖房負荷の低減を図り、快適かつ省エネに配慮した住まいをお届けします。



## ● 部屋間の温度差をさらに低減<sup>※3</sup>

断熱性を高めることで、エアコン稼働時は家全体が暖まりやすくなり、ヒートショックの原因となる部屋間の温度差を少なくする<sup>※3</sup>ことができます。また、エアコンを停止してからの温度変化も緩やかなため<sup>※3</sup>、朝の冷え込みを抑えることができます。

### ● エアコン停止時の温度変化(LDK)



### ● 夜9時における各部屋の温度差 [外気温4.3度]



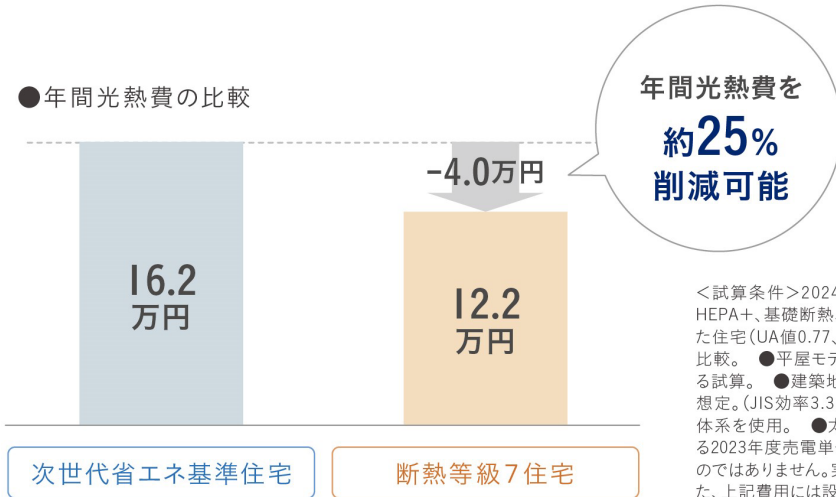
<試算条件>当社断熱等級7住宅(UA値0.26、エコナビ換気システムHEPA+、基礎断熱、樹脂サッシ、トリプルガラス)と次世代省エネ基準の断熱性能を想定した住宅(UA値0.77、3種換気、床断熱、アルミサッシ、複層ガラス)におけるシミュレーションデータより。●熱負荷計算ソフト:AE-Sim/HeatVer4.1.1 ●気象条件:拡張アメダス気象データ 標準年 2001-2010 大阪(6地域)の最寒日0.2°C、間歇空調暖房20°C設定を想定した比較。●平屋モデルプラン(延床面積114.98㎡)における試算。●建築地:6地域 ●家族人数:4人想定 ●生活スケジュール:省エネルギー基準における暖冷房負荷の基本となる計算条件に準拠 ●算出した温度は目安であり、それを保証するものではありません。気象条件、プラン、建築地、生活スタイルなどの諸条件により異なります。



## ● 地熱の活用と高い断熱性能で省エネ※4

建物の断熱性を高めるとともに、地熱の効果で外気に比べて温度が安定している、ベース空間(床下)の空気を換気に活用することで、冷暖房の負荷を軽減。快適性を損なうことなく、冷暖房にかかる電気代を抑えます。

### ● 年間光熱費の比較



<試算条件>2024年3月現在。当社断熱等級7住宅(UA値0.26、エコナビ換気システムHEPA+、基礎断熱、樹脂サッシ、トリプルガラス)と次世代省エネ基準の断熱性能を想定した住宅(UA値0.77、3種換気、床断熱、アルミサッシ、複層ガラス)との当社独自試算による比較。 ●平屋モデルプラン(延床面積114.98㎡、太陽光発電4.14kW、オール電化)における試算。 ●建築地:6地域 ●家族人数:4人想定 ●給湯:電気ヒートポンプ給湯器を想定。(JIS効率3.3を採用) ●電気代の算出には関西電力の2023年9月段階での料金体系を使用。 ●太陽光発電による売電金額は、固定価格買取制度の余剰買取方式による2023年度売電単価16円/kWhを使用。 ●算出した数値は目安であり、それを保証するものではありません。実際の生活パターンや、設備・家電の使用状況などにより異なります。また、上記費用には設備機器の初期費用(機器及び工事費)は含まれません。

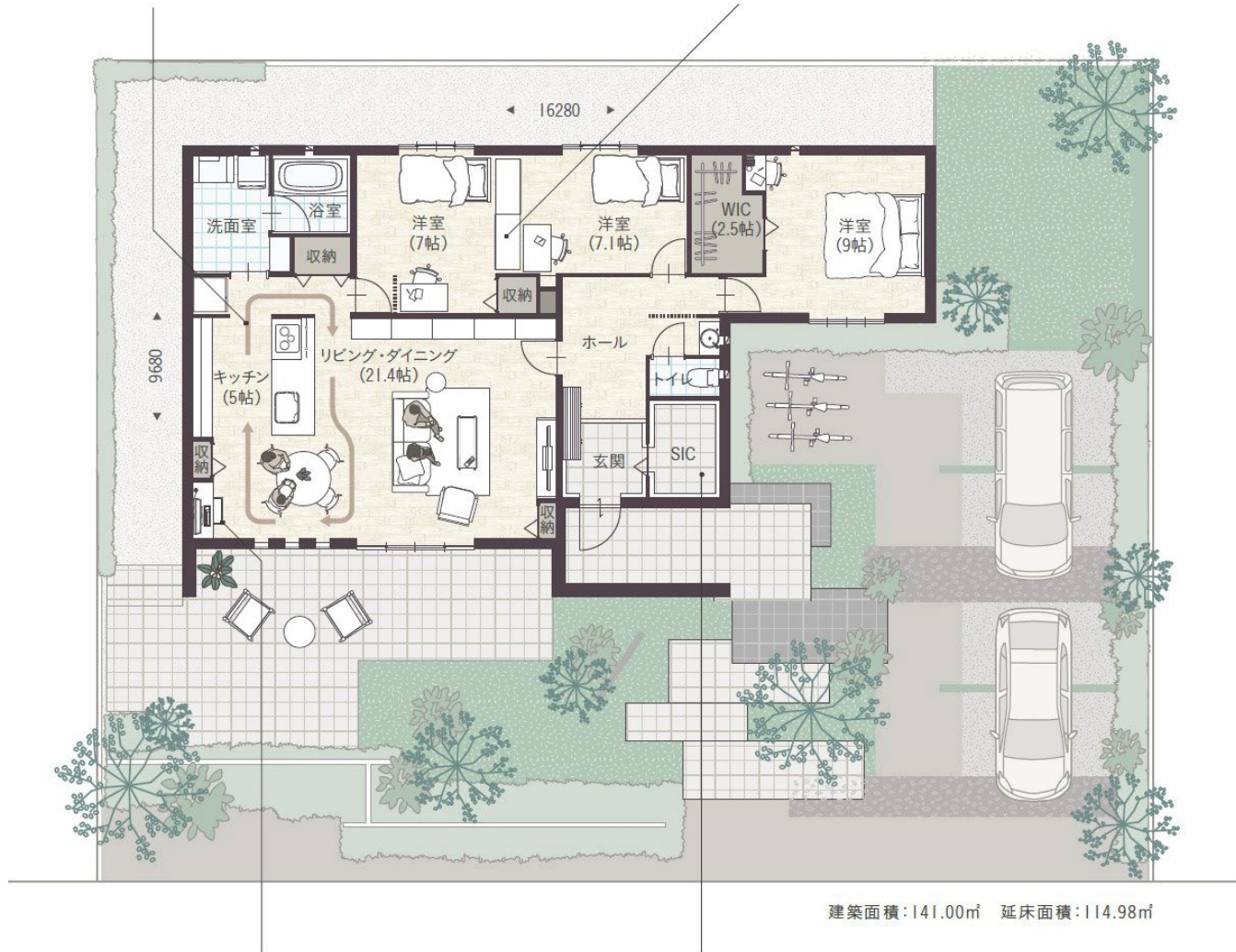
## ② 平屋の特性を生かしたプランニングが可能

ワンフロアで暮らせる平屋の利点を生かし、キッチンを中心とした回遊動線により家族みんなで家事ができるLDKや、キッチンに近接して家事や在宅ワークの空間を確保するなど、動線の効率化や時短に繋がるプランも実現可能です。



キッチンを中心とした回遊動線で家族みんなで家事がしやすい工夫も。キッチン直ぐ横の洗面室は料理と洗濯の同時並行がしやすい動線で時短にもつながります。

家族の成長に合わせて1室から2室に区切ったり、収納のレイアウト変更も含めて間取りを柔軟に変更できる可動間仕切り収納を採用。



キッチンの近くにワークスペースを配置することで、在宅ワークや郵便物、配布物のチェックなど、デスクワークの合間の家事も効率よくスムーズに。

玄関の広々としたシューズインクロークは汚れても掃除がしやすい土間仕様。靴はもちろん雨具やアウトドア用品などを収納できて便利です。

商 発 構 参 考	品 名	名	： 『カサート平屋 断熱等級7モデル』
		日	： 2024年4月19日
		造	： 制震鉄骨軸組構造
販 売	地 域	考 価 格	： 3.3㎡あたり100万円台より(標準本体価格・消費税込) ※価格は、地域、延床面積および設備・仕様等により異なります
		目 標	： 北海道、沖縄および一部地域を除く全国 初年度40棟

- ※1: 標準仕様では断熱等級 6 に対応し、等級 7 はオプション対応となります。また、建築地やプラン、採用する仕様によっては対応できない場合があります。
- ※2: カサートの平屋において。建築地やプラン、採用する仕様によっては対応できない場合があります。
- ※3: 次世代省エネ基準住宅と比較した場合。＜試算条件＞当社断熱等級7住宅(UA値0.26、エコナビ換気システム HEPA+、基礎断熱、樹脂サッシ、トリプルガラス)と次世代省エネ基準の断熱性能を想定した住宅(UA値0.77、3種換気、床断熱、アルミサッシ、複層ガラス)におけるシミュレーションデータより。 ●熱負荷計算ソフト: AE-Sim/HeatVer4.1.1 ●気象条件: 拡張アメダス気象データ 標準年 2001 - 2010 大阪(6地域)の最寒日 0.2℃、間歇空調暖房 20℃設定を想定した比較。 ●平屋モデルプラン(延床面積 114.98 m<sup>2</sup>)における試算。 ●建築地: 6 地域 ●家族人数: 4 人想定 ●生活スケジュール: 省エネルギー基準における暖冷房負荷の基本となる計算条件に準拠 ●算出した温度は目安であり、それを保証するものではありません。気象条件、プラン、建築地、生活スタイルなどの諸条件により異なります。
- ※4: <試算条件>2024年3月現在。当社断熱等級7住宅(UA値0.26、エコナビ換気システム HEPA+、基礎断熱、樹脂サッシ、トリプルガラス)と次世代省エネ基準の断熱性能を想定した住宅(UA値0.77、3種換気、床断熱、アルミサッシ、単窓ガラス)との当社独自試算による比較。 ●平屋モデルプラン(延床面積 114.98 m<sup>2</sup>、太陽光発電 4.14kW、オール電化)における試算。 ●建築地: 6 地域 ●家族人数: 4 人想定 ●給湯: 電気ヒートポンプ給湯器を想定。(JIS 効率 3.3 を採用) ●電気代の算出には関西電力の 2023 年 9 月段階での料金体系を使用。 ●太陽光発電による売電金額は、固定価格買取制度の余剰買取方式による 2023 年度売電単価 16 円/kWh を使用。 ●算出した数値は目安であり、それを保証するものではありません。実際の生活パターンや、設備・家電の使用状況などにより異なります。また、上記費用には設備機器の初期費用(機器及び工事費)は含まれません。

\* 本件に関するお問い合わせ先 \*

パナソニック ホームズ株式会社 宣伝・広報部 広報課 井筒

TEL: 080-8535-6640 / E-mail: izutsu.katsuhiko@panasonic-homes.com

HP: <https://homes.panasonic.com/company/news/release/>